



3月号

学校だより

令和2年 3月 2日
さいたま市立植竹小学校
〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1
TEL 048-663-7627
FAX 048-663-9885
E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 744名

『129.3の秘密』



校長 関根 正佳

校長室で育てているマーガレットが、窓際で黄色の花を咲かせています。太陽の光を浴びて気持ちよさそうです。「弥生」3月を迎えました。陰暦の3月を指すこの言葉は、草や木がさらに生い茂る様子も表現しているそうです。年度の総まとめとなる最終の月です。今年度の反省を生かし来年度の準備に取り組んでまいります。

さて「129.3」と聞いてピンとくる方は、どのくらいいらっしゃるでしょうか。この数字はドラえもんにかかわる数字です。ドラえもんの身長：129.3cm、体重：129.3kgは、ドラえもんの漫画や大辞典の中で触れられていますが、ドラえもんの苦手なねずみから逃げるスピードが時速129.3km等は、ドラえもんファンの方々が作り上げていった部分が大いそうです。また、作者の藤子・F・不二雄氏もこのことを楽しんでいと、編集の方から伺いました。身長が129.3cmは、1970年の雑誌に初登場した時の4年生の平均身長が、129.3cmということから、この数字が導き出されたようです。そして、のび太君とドラえもんが同じ目線で会話ができ、見上げたり、見下ろしたりしないようにと、ファンの方々が想像を膨らませて作り上げていったようです。そこには、一人の子どもの人格を大切にしようとするファンの方々の思いが感じ取れます。とても素敵なお話だと思います。

下に記した「教師十戒」は、長野県で40年ほど教員として、その後長年にわたり教育委員として勤務された毛涯章平（けがい しょうへい）先生の言葉です。

教師十戒 毛涯 章平（けがい しょうへい）

毛涯 章平著「肩車にのって」より

- 子どもを、こばかにするな。教師は、無意識のうちに子どもを目下の者と見てしまう。子どもは、一個の人格として対等である。
- 規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ。さもないと、子どもの心が窒息し、枯渇する。
- 近くにきて、自分を取り巻く子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- ほめることばも、しかることばも、真の「愛語」であれ。「愛語」は、必ず子どもの心にしみる。
- 暇をつくつて、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
- 成果を急ぐな。裏切られても、なお、信じて待て。教育は根くらべである。
- 教師の力以上には、子どもは伸びない。精進をおこたるな。
- 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑い、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。
- 子どもに、素直にあやまれる教師であれ。過ちは、こちらにもある。
- 外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。

「教師十戒」をいつでも見ることができるよう、植竹小学校の職員室、校長室、トイレ等に、掲示してあります。教員が子どもたちと接するときのあり方を示し、教師としての指針となることを願ってのことです。ドラえもんの129.3という数字の中の秘密と同様に、子どもと同じ目線で、子どものことを一番に考えて、教職員一同植竹小学校の教育に携わっていただけるよう努力してまいります。

令和元年度が終わります。植竹小学校の学校教育に御尽力・御協力いただいたすべての方々に感謝申し上げ、今年度最後の学校だよりとさせていただきます。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応の国の基本方針を受け、さいたま市教委より臨時休業等の要請についてお知らせしているところです。保護者・地域の皆様方より、御理解、御協力をいただきありがとうございます。引き続きさいたま市教委の指示に従い、新しい情報をその都度、学校安心メール、植竹小ホームページにてお知らせさせていただきます。御確認ください。